

広島経済レポートに掲載されました



敷地 3 万 m² 超の大型物流拠点 岐阜に23年 9 月稼働、東海カバー

クボックス

エリアに拠点を持つ企業や現地荷主の開拓も積極化する。

とまごまご高速道路と連結する東海環状自動車道の24、26年度の全線開通効果による輸送効率を考慮したほか、ハザードマップ対象外の平野であること、積雪の少なさを理由に進出を決めた。第1期工事で種類の異なる複数の倉庫を建て、計7000平方メートル規模の施設を計画する。名古屋港向けのコンテナ受け入れに対応するヤードや天井クレーン付き倉庫のほか、需要の高い危険物倉庫も4棟用意する。いずれも平屋。スルー型デポ（中継）機能にも対応。2階建ての事務所棟、地域交流スペースもある。今後、現地企業を主対象に設計・施工業者を決める。総投資額12、13億円。稼働直後の年間売上高は2億円前後を見込む。着手時期は未定だが、2期工事を合わせると延べ床1万2000平方メートル規模を想定している。北陸への輸送などに手を広げ、売り上げ10億円への引き上げを狙う。賃借中の滋賀営業所は廃止予定。自前の大規模施設で主要荷主の荷動き拡大に対応するとともに、オペレータースタッフを育成する。

同社は建設業や機械器具設置工事業などの資格も持つ。ユニットハウ

ス建築のほか、出荷前の最終組み立てや現場設営、設置工事など、オペレーターと銘打つ輸送前後の付加価値が強い。新拠点でも加工や組み立て分野の新たなサービスを模索する。21年6月期の売上高は16億3100万円。新拠点稼働時に20億円以上を見込む。

キリンググループ（東京） 伴南に物流拠点を開設

キリンググループで各社の物流を担うキリンググループプロジェクトス（東京）は11月19日、キリンビール商品の物流拠点「広島西風新都センター」を安佐南区伴南2-5-8に開き、出荷を始めた。

西風新都セントラルシティ産業用地内に8月に開設した東部ネットワーク（神奈川）の倉庫2、3階のうち、延べ7900平方メートルを賃借。構内業務は東部ネットに委託する。これまで広島近郊への出荷は岡山工場が主に担っていた。工場から配送先までの中継拠点とすることで、長距離輸送を減らし、ドライバーの負担軽減や労働環境の改善、ドライバーの確保につながる。災害発生時の配送困難リスクを低減し、広島近郊エリアへの安定供給の体制を整える。

会頭日誌

▽11月30日午後3時、広島県商工会議所連合会の2021年度中小企業・地域活性化施策に関する意見・要望活動。午後6時半、広島大学が躍動し広島の地を活性化させる基金推進会の第4回総会。▽12月1日午前7時20分、中国経済連合会の地元選出国会議員との懇談会、政府・与党等への要望活動。▽2日午前10時、広島商工会議所（広島県事業承継・引継ぎ支援センター）と広島弁護士会との事業承継支援に関する覚書調印式。▽3日午後1時半、第50回正副会頭会議。